

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公表番号】特表2000-506050(P2000-506050A)

【公表日】平成12年5月23日(2000.5.23)

【出願番号】特願平9-531857

【国際特許分類第7版】

A 6 1 L 27/00

C 0 8 H 1/06

【F I】

A 6 1 L 27/00 U

C 0 8 H 1/06

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月5日(2004.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年2月5日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第531857号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 カリフォルニア 92614, アーバイン,
ワン エドワーズ ウェイ (番地なし)

名称 エドワーズ ライフサイエンシーズ コーポレーション

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話 (大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

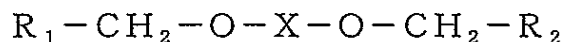
6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

行
審
式
査

請求の範囲

1. 溶液中での浸漬によって架橋されているコラーゲン含有組織を含む生物学的組織移植片であって、該溶液が、以下の一般式：



を有する固定化合物を含有し、

ここで、分子骨格Xが、少なくとも4個かつ多くとも5個の互いに直接結合した炭素原子からなる直鎖の炭素鎖を有する脂肪族炭化水素であり、該直鎖の炭素鎖は側鎖を有さず、かつ該直鎖の炭素鎖のいずれかの端部の末端炭素原子を有し、該直鎖の炭素鎖の端部の該末端炭素原子が、該一般式に示される酸素原子に結合しており、ここで、該末端基 R_1 、 R_2 の少なくとも一方がエポキシ基であり、そしてそのような末端基 R_1 、 R_2 の他方がa) エポキシ基、またはb) アルデヒド基のいずれかであり、該溶液が、架橋の間、コラーゲンまたは該固定化合物と反応する追加の化学化合物を実質的に含まない、生物学的組織移植片。

2. 前記コラーゲン含有組織が哺乳動物心臓弁を含む、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

3. 前記コラーゲン含有組織が哺乳動物心臓血管弁を含む、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

4. 前記コラーゲン含有組織が血管のセグメントを含む、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

5. 前記コラーゲン含有組織が腱を含む、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

6. 前記コラーゲン含有組織が皮膚を含む、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

7. Xが、互いに直接結合した4つの炭素原子の直鎖脂肪族炭化水素である、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

8. Xが、n-ブチルおよびn-ペンチルからなる群より選択される直鎖脂肪族炭化水素である、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

9. R_1 および R_2 の両方が、エポキシ基である、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

10. R_1 および R_2 の一方が、エポキシ基であり、そして他方が、アルデヒド基である、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

11. 前記化合物が、少なくとも4% (v/v) の濃度で水溶液中に可溶である、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

12. 前記化合物が、少なくとも10% (v/v) の濃度で水溶液中に可溶である、請求項1に記載の生物学的組織移植片。

13. 前記化合物が、1, 4-ブタンジオールジグリシジルエーテルである、
請求項1に記載の生物学的組織移植片。